

産地パワーアップ事業の取組事例(R1~2年度:計画作成主体:にかほ市農業再生協議会)(秋田県)

取組の概要

取組の概要 : アスパラガス産地化に向けた
高品質・安定生産の取組
対象品目 : アスパラガス (R4栽培面積: 0.8ha)
主な取組主体 : 農事組合法人小出ファーム
成果目標 : 販売額の10%以上の増加
(総販売額)
導入機械等 : 生産支援事業
パイプハウス資材
給水設備・井戸ポンプ設備・
灌水設備: 16棟分、
アスパラ選別機: 2台

推進体制

地域の関係者(にかほ市、JA秋田しんせい、秋田県由利地域振興局、にかほ市土地改良区)が一体となり、事業を推進

構成	役割
取組主体	: 施設機械の導入による半促成栽培
にかほ市	: 施設機械の導入支援
JA秋田しんせい	: 作物栽培、経営指導
由利地域振興局	: 作物栽培、経営指導
土地改良区	: 基盤整備

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○ 基盤整備事業、集落営農の法人化と併せての実施。

〈県・市町村単独事業〉

○ 県事業(園芸メガ団地整備事業)を併用。

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

○課題: 水稲依存の農業からの脱却
現状(H29): 水稲、大豆等2.8ha 農業者17名
総販売額1,253千円
○取組方向: アスパラガスを取り入れた複合経営
半促成栽培による計画的な高品質安定生産の確立

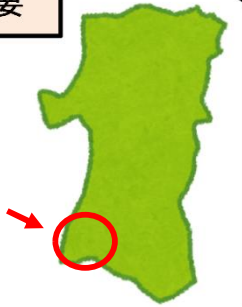
目標(R4): アスパラガス0.8ha 農業者17名 総販売額13,750千円

【産地の体質強化に向けた方策】

・選別機や防除機の導入による作業性の向上、省力化

地区の概要

秋田県
にかほ市



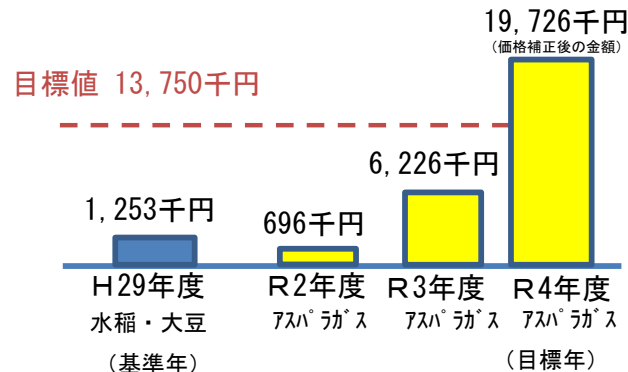
取組成果

【事業実施による直接効果】

○高品質、安定生産体制が確立

【事業実施による間接効果】

○県内屈指のアスパラガス産地となり地域農業が活性化
○収穫期間が長いため、水稲に比べ長期間の雇用創出に繋がっている



アスパラガスの実績値
(販売額)

販売額が1,574%増加
(達成率148%)
(水稲、大豆等作付時対比)

○高単価の規格をまとまった量で出荷できた為、目標を大きく上回った。